

# Your Library



成績アップの近道 教えます

## CONTENTS

②-③

図書館を利用して  
レポートでAをとる!

④

読書ナビ  
おしえてライブラリー  
INFORMATION

## 読書ナビ

第31回

### 心を深く知りたいあなたに 現代心理学部教授・香山リカ

1. 『夜と霧』  
(ヴィクトール・フランクル著、霜山徳爾訳、みすず書房、1985年)
2. 『それでも人生にイエスと言う』  
(ヴィクトール・フランクル著、山田邦男、松田美佳訳、春秋社、1993年)
3. 『時間と自己』  
(木村敏著、中央公論社、1982年)
4. 『精神分裂病の世界』  
(宮本忠雄著、紀伊国屋書店、1977年)
5. 『ニーチェと哲学』  
(ジル・ドゥルーズ著、足立和浩訳、国文社、1982年)
6. 『消費社会の神話と構造』  
(ジャン・ボードリヤール著、今村仁司、塚原史訳、紀伊国屋書店、1995年)
7. 『1984年』  
(ジョージ・オーウェル著、新庄哲夫訳、早川書房、1972年)
8. 『夏への扉』  
(ロバート・A・ハインライン著、小尾美佐訳、早川書房、2009年)
9. 『幼年期の終わり』  
(アーサー・C・クラーク著、池田真紀子訳、光文社、2007年)
10. 『アンドロイドは電気羊の夢を見るか?』  
(フィリップ・K・ディック著、朝倉久志訳、早川書房、1977年)

最近の書店には「すぐに読める本」「今日から役立つ本」ばかりがにぎにぎしく並んでいるが、大学の図書館には人類の知の蓄積ともいえる古典や専門書が、ひっそりじっくり、学生に手に取られるのを待っている。

社会人になればどうしても、「10分でわかる…」式の本も読まなくてはならないことになるので、学生のうちはぜひ、「すぐには役に立ちそうにない本」「読むのに骨が折れる本」にチャレンジしてほしいと思う。

「心を知るためのおすすめの本は？」とよく質問されるのだが、もし本格的に人間の心を探求してみたいなら、日本の精神病理学者と呼ばれる人たちの本を開いてみてほしい。彼らの中には、専門家でありながら文章の達人でもある人も少なくない。中井久夫はすでに多くのファンを持つが、宮本忠雄、木村敏の著作も、精神医学の専門家以外の人にとっても十分、魅力的であるはず。日々、精神の限界状況にある患者さんたちと接した彼らだからこそ、その人間理解の深さは作家や哲学者以上のものがある。

また、心に関心がある人にもたとえ“ない”という人にも読んでほしいのが、ナチスの収容所のサバイバーである精神医学者、フランクルの著作だ。これはとくに、いま悩んでいる人、生きづらいつ感じている人におすすめしたい。

私自身は、学生時代、専門書を毛嫌いし、SFばかりを読んでいた。最近SFの世界もどんどん進化しているが、クラーク、ハインラインなどの古典は、マニアとしてというより、人間として、やはり一度は読んでおいてほしいもの。個人的にはディックがいちばん好きなので、最も有名な『アンドロイド…』をリストに忍び込ませておいた。ディックファンの学生さんがいたら、ぜひ一度、語り合いましょう。

※上記の資料はすべて立教大学図書館で所蔵しています。

## おしえてライブラリー

第10回

図書館でパソコンが使えるときいたのですが。

図書館には以下の通り館内にパソコンが設置されており、学習などに利用することが出来ます。

池袋本館	デスクトップ16台
7号館メディアライブラリー	デスクトップ37台
人文科学系図書館	ノート10台
社会科学系図書館	デスクトップ7台
新座図書館	デスクトップ29台、 ノート10台

これに加えて、池袋本館と社会科学系図書館では、メディアセンタースタッフによるノートパソコン貸出サービスも行っていますので、調べ物やレポート作成などに活用してください。

## INFORMATION

～レポート・論文の書き方、PCスキルに関する資料～

図書館本館3階閲覧室では、レポート・論文の書き方やパソコンスキルに関する資料を設置しています。「レポートの書き方について参考になる資料が欲しい」、「パワーポイントをプレゼンテーションに生かしたい」など、様々な場面で是非ご活用ください。新座図書館ではただ今準備中です。近日中に設置します。

※こちらにある資料は、館内利用専用(禁帯出)です。



池袋図書館本館3階

## Your Library 第10号(通号69)

発行日 2010年6月22日 連絡先 TEL 03-3985-2630  
 編集 井川 充雄(図書館副館長) E-mail your\_library@ml.rikkyo.ac.jp  
 発行人 石川 巧(図書館長)  
 発行 立教大学図書館  
 http://www.rikkyo.ac.jp/research/library



メールにて、みなさんのご意見、ご感想をぜひお寄せください。

楽しい夏休みの前に、避けて通れないのがレポート。今回の特集は新入生の方だけでなく、上級生の方にも役立つ内容になっています。図書館は学生生活を充実させる近道です。ぜひ様々な場面で図書館をご利用ください。また、「読書ナビ」には夏におすすめな名作SFがそろっています。Your Library no.10を活用して、素敵な夏休みをお過ごしください。

# 1 初めてのレポート

レポート課題が発表された。去年同じ授業をとっていた先輩は、ネットからコピペした内容を自分のレポートとして出したら、やっぱり先生にはバレたみたいで、単位を落としたりらしい…。



「どうしよう…書き方わからないな…授業で挙げられた参考文献の読書感想文しか書けないけど、コピペじゃダメなのかな？」

# 2 レポート作成ガイド

まず何から手をつけたらいいのかわからない…そんな時に参考にして欲しいのが、「レポート作成ガイド」です。レポートの定義から引用の仕方などの具体的な手順まで簡潔にまとめられています。

- 立教大学ウェブサイトから見る  
(※ページの探し方は誌面下部を参照)



- 「Library Guide」内の「レポート作成ガイド」  
(各図書館のカウンターに設置しており、自由に持ち帰れるようになっています)



「でも実際に今回の課題をやる時にも、ここに書いてあること全部守らなきゃいけないのかな？ 大変そう。誰かに相談したいな」



# 図書館を利用してレポートでAをとる!

いいレポートを書くにはどうしたらいいのかわからないのか。その方法の一つが、大学図書館の活用です。今回の特集では、立教大学のとある一年生が、図書館を使って、初めてのレポートを作成するストーリーをご紹介します。

## レポートをどう評価するか

レポートを作成する目的の一つには、自分の考えを論理的にまとめ、それをさまざまな他人の考え方に照らし合わせながら、洗練されたものに仕上げていく、ということがあります。したがって、レポートの評価も、いかにいろいろな人と書物を通じて「出会い」、その人との対話の中で自分の考えを試してみたのか、ということによって決まるところがあります。ぜひ図書館を大いに活用されて、さまざまな人たちとの「出会い」を重ねながらレポートに取り組んでみてください。

(社会学部 メディア社会学科 是永 論先生)



# 3 LA・図書館活用講座

- LA～レポートの具体的なイメージをつかむ～

LA(ラーニングアドバイザー)制度を利用することもレポート対策に役立ちます。様々な知識を持ったLAが皆さんをお待ちしています。「何から手をつけたらいいのかわからない」といった悩みをそのまま相談に来ても構いません。具体的な参考資料やレポートの体裁のアドバイスを受けることで、レポート作成に対する具体的なイメージをつかむことができます。一人での来館も、複数人での来館も歓迎です。



- 図書館活用講座  
～限られた時間で効率的に資料を集める～

レポートのイメージがつかめたら、オリジナルのレポートを書く材料を探します。その前に、図書館活用講座へ参加すると、情報収集のテクニックが学べます。図書館活用講座(全3回シリーズ)では、実際に書庫まで資料を探しに行く演習も行い、即使える実践力を身につけられます。また、本館3階にはレポート作成に役立つ本を集めたコーナーを設置しています。新座図書館では近日設置予定です。そちらもあわせてご活用ください。(詳細はINFORMATIONコーナーをご参照ください)



「相談してみたら、ツボがわかって、ちゃんとレポートが書けそうな気がしてきた」



「OPAC(オーパック)で資料を検索するときのポイントを教えてもらったら、役立つ本がたくさん見つかった」

# 6 いよいよ成績発表! 結果はなんと…

苦勞のかいもあって…初めて書いたレポートでなんとA取ったぞー!



# 5 いざ執筆!

同じテーマでも、いくつかの資料を読んだら、色々な考え方があるのがわかった。こんな風に調べ物をするのは、初めてだった。専門的な資料を読むのは時間もかかるし大変だけど、たくさんの意見に触れた方が、考えが深まるし、いいレポートになりそうな気がする。

あーでもないこーでもないと悩み続け、結局レポート提出前日は徹夜してしまう…



# 4 資料の収集

いよいよレポートの材料となる資料を集めます。立教大学図書館で利用できる資料は、図書を始め、雑誌、オンラインデータベースなど多岐にわたります。オンラインデータベースの中には自宅からリモート利用できるものもあり、24時間どこからでもアクセスできます。資料の一例としては…

- 図書



- 雑誌・新聞



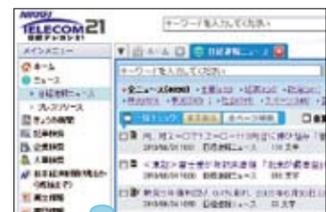
「よーし、読むぞー」

「貸し出しのできない資料でもコピーはできるんだ」

- Cinii  
(学術論文情報データベース)



- 日経テレコン21  
(日経四紙や企業情報のデータベース)



「リモートアクセスできるデータベースは家からも見られるから、便利だな」

「明治時代から最新のニュースまで読めるんだ」

立教大学ウェブサイトトップ

図書館

学習支援

レポート作成ガイド

WEBでレポート作成ガイドを見るには

